

## あくていぶ21 森 喜代造 議員



- ①F1地域おこしについて
- ②民生委員児童委員について
- ③ラジオ体操について

質問① 地域活性や協力体制はどのように考えているか。又稲生駅までの歩道拡幅はしていくのか。

答弁① 鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会を立ち上げ、30団体の事業者が参加した。3つの部会で協議、検討を重ねる。又、市道加佐登鼓ヶ浦線南側歩道を5.5mに計画している。完成は平成23年の予定である。

質問② 活動状況と民生委員の欠員及び選定基準はどのようにしているのか。事故等の対策は万全か。

答弁② 社会奉仕の精神をもって職務に携わっている。

欠員は4か所の区域に4名の欠員が生じていることから近隣区域の委員の方に協力をお願いしている。又、活動中の事故等は県の条例による保障や、任意加入のボランティア保険等に対応する。

質問③ ラジオ体操の普及促進について小学校で指導しているのか。又夏休みに地域でラジオ体操を実施しているのを学校は把握しているのか。今後のあり方について。

答弁③ 小学校30校中12校が授業で指導している。準備運動としストレッチ運動などを取り入れている。夏休みのラジオ体操は地域や子ども会が実施していることから学校では把握していない。ラジオ体操は子どもたちの生活習慣の向上や地域づくりにもつながることから普及促進に努めたい。

## 市政研究会 中村 浩 議員



- ①鈴鹿市の都市計画税について
- ②市長への提言について

質問① 家が建たない土地であれば、都市計画税の減税や税金の還付期間である、5年前にさかのぼり、都市計画税を返すべきでは。本市では、0.2%の課税であるが、市民負担を少なくする為、0.15%にならないか。将来人口を、市民が夢と希望を持てる「30万人構想」と掲げては。

答弁① 家が建たないことを理由に都市計画税を減税することや、すでに納められた税を還付することは、地方税法の趣旨からできないものとする。事業推進

には、引き続き、0.2%の税率で負担をお願いしたい。最近の人口の伸びを考えると30万人規模になることは考えにくく、県の予測でも、平成30年をピークに、その後は緩やかに減少するものと予測されている。

質問② 今年1月に提言した内容の今年度予算に反映した中で、C-バスの項目でその他地域の公共交通の検討について具体的にどうするのか。

答弁② 本市の公共交通網を全市的な視点から検討をすすめて行く必要がある。市内地域の人口構成や施設の配置、移動実態など状況を把握し、問題の整理を行って、国の制度を利用できるよう、関係規定の整備に取り組んでいきたい。

## すずか倶楽部 原田 勝二 議員



- 安全で安心なまちづくり  
—集落間(なわて道)  
通学路防犯灯設置について—

質問(1) 平成16年に教育委員会・学校教育課に依頼した防犯灯の必要設置数の調査では、防犯灯は1,178灯・必要な電源は209とのことであったが集落間の問題もあり設置が進んでいない。その必要性をどのように考えているのか。

答弁(1) 必要性は十分認識しており、設置を促進する方向で、補助要綱の見直しを早期に検討する。

質問(2) 平成16年度から4年間の予算・設置実績・決算を問う。

答弁(2) 平成16年度から平成19年度までの予算額は320万円。決算額は118万円です。8つの中学校区で57灯を設置した。

質問(3) 1,178灯、電源209灯、設置費用の概算見積もりを問う。

答弁(3) 設置費は約3,300万円、電気代は約240万円。

質問(4) 子供達の安全確保のため現在の補助要綱を早急に見直し全額市費で負担できないか問う。

答弁(4) 現在の補助要綱を早急に見直し、1,178灯の設置の方針で、きちんと対応する。

